

◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：グラウンドワーク川口

24A-34

代表者：会長 武井 美親

URL :

1. 活動が必要とされた状況

見沼田んぼの自然環境を保護・保全しながら、農的文化の伝承を子どもたちに伝え見沼田んぼの貴重な生きものの生息場所の保護。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

令和3年度は、新型コロナの影響で活動が思うように実施できませんでしたが、幼稚園の自然観察、小学校（総合学習）・中学校の特別支援学級（2校）のしめ飾りづくりが実施され延べ351名が参加しました。

年6回のイベントですが、よもぎ餅つき（4月）・田植（6月）、夜の観察会（8月）は中止となりました。稲刈り（10月）、収穫祭、しめ飾りづくり（12月）などを年間通して、延べ476人が参加しました。小学生対象とした自然教室は、9回が開催され、延べ240人が参加しました。公民館主催の環境講座2回と自然観察とものづくり2回など5回で延べ116人の参加がありました。

3. 活動の成果

コロナ下で日々の保全活動などは工夫して実施してきました。今年もアカガエルの産卵が確認され、自然観察会などで子どもたちが捕まえる回数が多くなりました。また、新たに30種の昆虫が確認されました。今年の稲刈りの際「カヤネズミ」の巣が多く確認され、1つの巣では産卵が確認されましたので、より一層、見沼田んぼの環境の保全・保護に努めて行きたいと改めて認識しました。今年、ホームページに月ごとのお知らせを掲載しましたが、ホームページを見てもらい、活動を子どもに体験させたいと考えています。

4. 今後に残された課題

スタッフの高齢化に伴い作業の省力化とスタッフの増員の施策を考えること。

保全、整備に関してスタッフ全員への意思統一。

新型コロナの影響でイベントがなかなか開催できず、会員が減る傾向にあります。こうした状態を乗り越えるための工夫をしていきたいと考えています。



12月の収穫祭（精米）



自然教室（箸づくり用）



子どもたちが作った箸と箸置